

環境マネジメントシステムを有効に運用していくためには、環境教育が重要な要素となります。社員の意識向上やスキルアップなどを目的とした教育を実施するとともに、緊急災害時の人的被害を最小限に食い止めるための防災訓練も併せて実施しています。

### ◎環境教育(グループ)

ミネベアグループでは、全社員を対象として定期的に環境教育を実施しています。新入社員をはじめとし、中途入社社員や人事異動社員、派遣社員などの新規従業員への環境教育を徹底して行っています。また、海外帰国者や研修生に対しても教育を行っています。

ミネベアの環境ビジョンや環境活動、または環境マネジメントシステムについて説明するとともに、ミネベアの従業員としての理解、認識をもって行動するよう教育しています。



新入社員に対する集合教育

### ◎ライフサイクルアセスメント教育

ミネベアグループでは、EuP指令などの製品環境規制に対応するために環境適合設計の見直しを開始し、ライフサイクル思考型のシステム構築を目指しています。そのためにミネベアグループでは、環境適合設計に定量的データを提供する手法であるLCAの教育・説明をグループ全体で展開しています。



浜松工場で行ったLCA教育

◎防災訓練の実施(軽井沢工場)

軽井沢工場では地震や火災及び油の流出を想定して、緊急時の対応訓練を社員全員で毎年実施しています。

訓練では、地震発生時の初期対処後、直ちに災害対策本部を設営します。まず人命保護を最優先に考えてIDカードによる避難確認作業を行います。

今年の訓練では、避難場所での負傷者の救急処置講習を実施しました。訓練内容についての見直しを毎年行うことで、実際の災害時に想定される事態を考慮した訓練となっています。

グループとしても、災害時に人的被害を出さないことを最優先として各工場で防災訓練を実施しています。



消火班待機



救護班による避難テントの設置



避難確認作業



消火班による放水訓練



負傷者の救急処置講習



油流出防止班による訓練



### ◎内部監査員養成研修

ミネベアでは内部監査員の育成のため、内部監査員養成研修を毎年実施しています。

研修では社内のISO14001審査員有資格者が講師を務め、2日間にわたり研修を行います。

環境担当役員の訓話に始まり、ISO14001のシステムや地球環境問題、環境技術、環境法令についての講義及び試験を行い、その後製造現場での監査実習を行います。

監査実習では実際に製造現場を訪れて、事前に準備された不適合などを見つけ出していきます。実習の結果は各チームごとにまとめ、発表・討議し合い内部監査員として必要な技能を習得します。

2007年3月までに日本国内では181名が研修を受け、各事業所で内部監査員として活躍しています。



試験風景



監査実習を行う研修生

### ◎内部監査の実施

ISO14001に従い、内部環境監査を定期的実施しています。この監査結果を対象部門へ報告し、併せて社内データベースに掲載することで社員全員が情報を共有できるようにしています。



軽井沢工場の内部監査

### ◎天然ガス自動車の講習会(タイ)

天然ガス自動車は、排気ガスに含まれる大気汚染物質やCO<sub>2</sub>がガソリンなどの石油燃料に比べて少なく、低公害車として世界で普及が進んでいます。

タイのバンパイン工場では、車を所有している従業員に天然ガス自動車の知識をもってもらうため、政府の認定を受けている設備取付会社から講師を招いて天然ガス自動車の講習会を開催しました。



天然ガス自動車の講習会